

文芸

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。漢字にはふりがなを記入し、数種類に投稿する場合は別にしてください。広報投稿作品の、他への重複投稿はご遠慮ください。

短歌

末武 有二 選

鳥の舞ふ姿にも似て夢誘う 彩豊かなる極楽
鳥花 安永 守住 孝子

手を挙げて迎えてくれた友は逝き 米寿の集
い心寂しい 安永 川野 光子

更けてゆく夜の雷はげしくて 悔ゆる心も深
くなりゆく 安永 山下たか子

今日のメモ足の運びも軽やかに 施設の友と
歌いしを書く 上陳 永田巳智子

地震あとの更地に高く百日紅 ゆらゆら揺れ
る帰り人何時 宮園 金子フム子

生い茂る更地の草は風に揺れ 地震の怖さ君
は知らない 小谷 今吉マキ子

赤蜻蛉亡き父母のせて飛び回る 姉と見上げ
る里の墓参は 古閑 井上てつ子

哀楽を共に過ごした友送る 新生活を祝うも
孤独 寺迫 今村 文字

人生の後半賭けたテスト前 息子の背中心で
押す夜 広崎 瀬戸サイ子

出し切った汗も涙も清々し 夏の球児にサイ
レン讃歌 赤井 増岡 伸禧

笑顔あり心癒せるこのホーム 山査子咲く日
指折り待とう 良子

お願い 投稿は、一人一首でお願いします。

俳句

河野 全平 選

藪の中から伸びてまっかな彼岸花
花嫁のベールに見えたうろこ雲
お月見に萩の一枝影うつす
消えた集落侘しきままに時過ぎぬ
盆提灯亡夫の笑顔夜半の月
秋深し夜なべ楽しき小豆あん
秋立ちぬおくれ毛なでる風やさし
復興の里見下ろして薄もみぢ
鑑賞秋二題

福原 奥村 正史
赤井 城本ぬい子
寺迫 今村 文字

上陳 永田巳智子
小谷 今吉マキ子
赤井 鈴木 駒

木山 山口サツキ
田原 辻ヶ峰子

この道や行く人なしに秋の暮
門を出れば我れも行人秋の暮
松尾 芭蕉
与謝 蕪村

川柳

布田川左門 選

『お題』 ロボット・AI

介護されロボットならば不満なし
ロボットに仕事とられてホームレス
AIには脱帽オドロクばかりです
まゆみ
まさのり
平田の老女

※参考例

ロボットが深海さぐり地震予知

『お題』 自由詠

何事もなくて夕餉の胡瓜もみ
安倍首相改憲よりも拉致が先
巢立ちゆくツバメ大家に礼もせぬ
八十路の花
西田まさみ
すいすい

※参考例

見事なる人生仰ぐ希林さん

川柳のお題 「月旅行」

益城の文化財 町文化財保護委員会



益城町

益城町の巨木②

広報9月号で広安・木山地区の巨木を紹介しました。今回は、津森・福田・飯野地区の巨木について紹介します。

飯野地区では、平安時代末期頃に創建されたとされる「飯田山常楽寺」境内地に巨木がみられます。

「飯田山常楽寺」は、かつて300人を超える僧侶が学んだとされる寺院で、皇室の御寺である京都の「泉涌寺」を開基した俊苧律師を輩出しています。

福田地区では、朝来山の山林やその裾部に巨木が存在します。朝来山は修験僧が峰入りをを行う修験の山で、「福田寺跡」周辺には、今でもその名残がつかえます。

津森地区では、「津森神宮」や「慈光山浄信寺」・「龍池山千光寺」といった境内地に分布します。「津森神宮」のイチヨウには、「夜泣貝」と呼ばれる陸生の巻貝が生息しており、